

「教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組」

◎教育学部

- 総合的な実践的指導力育成のための体系的・段階的な実地教育プログラムの実施。
- 人権教育・国際理解教育・学校安全・環境教育などの教育諸課題に対する授業、また教育実習に向けて学校現場での体験や実習を行う授業を「教育課題対応科目」群として設置。
- 各教科領域専攻における小・中2校種免許取得可能な教育課程の編成。
- 地域の教育課題を解決し、教育の向上に資する力量を備えた教員を地域の義務教育の現場に輩出するため、通常の教育課程に加え、プラス・アルファのことにチャレンジするプログラム(通称「ブラアル」)の実施。
 - ・「ボランティアオフィス」の設置と学校等でのボランティア活動の単位化。
 - ・義務教育を中心とした複数の教員免許取得の推奨。
 - ・支援が必要な学生へのピアサポート、子どもへの運動指導力を基礎に教員としての総合的な力を養成するスポーツ指導者養成プログラム、学生の独創的で創造力豊かな研究活動を支援するe-Project@kyokyoの実施。
 - ・理系教科の指導力を向上させる取組として、小・中・高等学校の理系教科指導に関する講義を受講し、一定の基準をクリアすれば、小学校の理系教科指導に強い理系教育ジェネラリスト(リケジェネ)や、中学校・高等学校の理系教科指導に強い理系教育スペシャリスト(リケスペ)に認定されるリケプロ教員養成を実施。
 - ・各自の履修目的や意欲により選択できる「得意分野パッケージ」科目群(「外国人児童生徒等教育」「発達障害の教育」「幼児教育」「グローバル教員育成」)の設置。

◎教育学部・連合教職実践研究科

- 学校教育に対する深い理解と教育実践力を備えた教員を養成するために、教育学部・連合教職実践研究科の6年間を連続的に見通すことができる、「6年制教員養成高度化コース」の設置。

◎連合教職実践研究科

- 「教育及び教科の理論と実践の往還・架橋」を基本理念とした教育課程の編成。
 - ・教職について体系的・総合的に思考・判断する力を育成する上でコアとなる「共通科目」の設置。
 - ・学習の成果をまとめる力、教職専門職業人に求められる能力を育成する上でコアとなる「コース必修科目」の設置。
 - ・個々の課題意識をさらに深め、幅広い専門的知識に裏打ちされた高い実践力を育成する「コース選択科目」の設置。
 - ・学校園での実務的経験を通して、教職の実際について総合的に理解を深め、実践的指導力を高めるとともに、自己の職能を向上させる「教職専門実習」の設置。
- 共通科目、コース必修科目における、研究者教員と実務家教員のティーム・ティーチングによる指導。
- 「理論的な学び」及び「実践的な学び」を深めた修了論文の作成。
- 国際性を涵養するための海外研修プログラムの実施。

これらの取組に関して、京都教育大学は以下のような外部からの評価や意見も参照しながら、教員の養成に係る教育の質の保証と向上に取り組んでいる。

- 外部有識者を加えた自己点検評価委員会での検証
- 外部有識者を加えた教職大学院自己点検評価委員会での検証
- 卒業時における在学中に受けた教育内容等に関する卒業生・修了生アンケート
- 卒業後3年を経過した教員就職者からのフォローアップ調査と分析
- 役員による本学出身の現職教員からの意見聴取
- 役員による本学出身の学校管理職との意見交換
- 学生の保護者等が組織する京都教育大学教育後援会との意見交換 等